

八幡平市



松尾鉱山で実際に使われた道具や当時の写真、文書などの数千点にのぼる資料群

松尾鉱山の資料が推薦産業遺産に認定

国内の産業や歴史の研究者などで組織される産業考古学会(会長・川上顕次郎多摩美術大元教授、会員約600人)は5月28日、松尾歴史民俗資料館が収蔵する松尾鉱山についての資料群を推薦産業遺産に認定しました。

資料群は松尾鉱山についての文書や写真、機械類など数千点にのぼり、産業振興と環境問題の両面から鉱山の歩みを後世に伝える国内でも数少ない総合的な資料群として評価されました。



松尾鉱山鉄道を走ったED251型電気機関車

推薦産業遺産の認定は72例目、県内では栗木鉄山(住田町)に続き2例目となります。同資料館は、歴史・民俗資料のほか、松尾鉱山についての資料などを展示し、かつての姿を伝えていますが、収集した資料には未整理のものも含まれています。

今後は資料整理を進めることに加え、産業考古学会などと連携し、松尾鉱山価値の発信やウオーキング、鉱山出身者などとの協働活動を行っていく計画です。

7月1日、岩手山の山開きが行われました。

当日はあいにくの雨が降る中、登山や観光関係者など約70人が出席。シーズン中の登山愛好者の安全と岩手山ろくに広がる大地からの未永い恵みを祈念し、岩手山焼走り国際交流村で安全祈願祭が行われました。

山頂では、雫石町、滝沢村の登山隊とピッケルを交換し、万歳三唱と乾杯で山開きを祝いました。

安全を願い、岩手山頂でピッケル交換



山頂でピッケルを交換する3市町村の登山隊



新しいプールが完成し、大喜びの児童たち

安代小学校の屋内プールが完成し、初めてのプール開きが7月4日に行われました。

高橋北英教育長は「目標を持って泳いでください」とあいさつし、テープカットでプール開きを祝いました。

この日は水温が上がらず、泳ぎ初めをすることはできませんでしたが、児童たちは市の水泳記録会に向け「去年より泳げるようになりたい」と決意を新たにしました。

新しい屋内プールで「早く泳ぎたい」